

2017-05-15 由 破点 发表于设计

原文網址：<https://kknews.cc/zh-sg/design/68npgpq.html>

台湾チームを国際的に率いる Gogoro のチーフデザイナー王松富氏のインタビュー

「フォーブス」で Gogoro のスマート電動バイクを「Vespa と iPhone を一つに」と書かれた、Gogoro のチーフデザイナーである王松富氏に。革新的なデザインでの従来デザインへの挑戦について貴重な話を聞くことができた。



文・写真／观点-大师谈华人市场设计

近年、台湾で最も野心的で大規模な新興企業として知られている Gogoro（睿能創意股份有限公司）は、資金調達から製品の発売まで多くの注目を集めており、メディアで繰り返し取り上げている。

Gogoro がここまで注目を集めた理由は、HTC の創業者陸学森（Horace Luke）氏の背景だけでなく、多くの有名な企業による起業プロセスの良好な支援だけでなく、Gogoro の最初の製品のスマートスクーター（Gogoro Smartscooter）のほとんどすべての設計、研究開発、製造が MIT（台湾製）であるからである。

革新的なデザインの Gogoro 電動スクーターは、どのようなものなのか。台湾の人々に合わせ志向したものはなにか。Gogoro デザインディレクターの王松富氏とのメディアインタビューで、これらについて明らかにする。



Gogoro の一体成型デザイン、ビスなしで、清掃や修理が容易である。

Gogoro のスマート電動スクーターが発売されたとき、その外観に各界から賛辞が寄せられた。雑誌「フォーブス」はこれを「Vespa と iPhone の組み合わせ」と表現した。

浩漢产品设计（NOVA Design）の元デザインディレクターの王松富氏、バイクの設計で 10 年以上の経験を持っているが、これまでのバイクの外観は非常に "ちム＼"（台湾語で、激しい、積極的を意味する）で、ボディーにはビス留めが使われており、修理や洗車するたびに、そこに汚れが着いてくる。

しかし、Gogoro 電動バイクは、旧来パターンを完全に破壊した。

設計原則は次のとおりである。1. 一目瞭然、子供でも覚えやすい。2. 3C 製品（カラーテレビ、クーラー、自動車）のようなシンプルで明快な製品。3. ビス留めではなく、アルミニウム製のボディー、4 一体成形で清掃および修理が容易にする。



台湾の人々のバイク利用習慣に従ってバッテリー寿命を設計し、約 1 週間ごとにバッテリーを交換するようにした。

これらの伝統的な課題を革新するデザインは、実際にはそう容易ではない。王松富氏と設計チームは、「カボチャの車のような」形状を最終的に選択し、3,4 ヶ月でスケッチを完成させた。伝統的なプラスチックとステンレス鋼を捨て、軽量で高価なアルミニウム合金の車体の使用は、チームがアルミニウムプレスを行うために、台湾最大の 9 トンのプレスマシンを利用することで実現した。また CEO の陸学森氏はアボットのカラーエキスパート、ベアトリス・サンチシオーリ氏をカラー・コンサルタントとして迎え入れ、伝統的なバイクの暗いイメージを捨て、電動バイクを明るく目を引くカラー・イメージにした。

「人々との対話を生み出すようなデザイン、Gogoro はそれを大切にして、3C 製品のようにいつでも手にとってみたいと思ってもらう。実際にこうした意図に応えてくれるユーザーがいて、きれいにするのが容易なので、彼の子供たちも一緒に洗車したいと思っている。名前の Gogoro も非常に発音しやすく、とても楽しい響きがあり、Gogoro が望むイメージそのものです。」と 王松富氏は言った。



重量、サイズ、触感を考慮したバッテリーのデザイン。

台湾に合わせたデザインとして、王松富氏は、台湾の気候の湿度の高さと降雨の多さを挙げている。Gogoro スマート電動バイクは、地面から 30 センチメートル未満の本体は、IPX7 防水仕様（30 分間 1 メートルの深さに水没しても浸水しないこと）と、30 センチメートル以上の部分は IPX6 防水仕様（あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がないこと）を備えている。

「私はバイクでこれまで高性能な IPX7 をやったことはありませんが、Gogoro はシステム全体が電気で動くが、降雨でバイクの運転や安全に影響を与えることは絶対にありません。また、台風や雷雨で地上に水は溜りますが、30 センチメートル以上になることはほとんどありません。」

Gogoro のスマート電動バイクは、台湾人の改造車好みに合わせカスタムメイドのサービスも提供しています。たとえば、ネームプレートをカスタマイズしたり、車の外皮を交換することもできます。「台湾人は特に改造車が好きです。「私たちは、消費者に排他的な自己満足感を与えるカスタマイズするサービスを提供しています。」



カスタマイズ・サービスを提供し、ネームプレートやバイクの外皮の交換などのカスタマイズを行うことができる。

さらに、バッテリー容量は、台湾の大都市のバイクの利用習慣に基づいて設計されている。チームは、平均的な台湾の都市では週に 88 キロメートルの距離をバイクで走行することに注目、時速 40km が都市内の速度とし、1日の走行時間を計算した。また 1 週間に 1 回の給油という台湾の一般的な燃料使用の習慣に沿って、バッテリーの交換も週に 1 回で済むようにした。バッテリーの設計には、より多くの注意が払われた。

王松富氏は、「私たちがバッテリーを設計するときは、重量、サイズ、触感を考慮する必要があります。小さすぎると容量が不十分で、大きすぎると不便なものとなる、そして丸みを持った四角いデザインで、バッテリー交換の際に、誤って地面にすべり落ちることはない。太ももに触れたとしても快適です。」
王松富氏は、「実際、Gogoro はバイクのメーカーだけではなくエネルギー管理会社であると強調し、たまたま最初の製品が電動バイクなので、バッテリーは私たちの非常に重要な資産です。電気を供給できるだけでなく、それ自体は製品であり、たとえ使用されていなくても、見栄えが良く美しいものでなければなりません。」



Gogoro から、台湾は優れた設計技術と製造技術を有し、イノベーションを支援するためのコストに投資する意思があることが証明されるはずだ。

Gogoro スマート電動バイクは、2015 年 11 月に EICMA 2015 に参加し、多くのヨーロッパのデザイナーやメーカーの注目を集めた。多くのヨーロッパのデザイナーは、Gogoro がドイツ、イタリアや日本のブランドは、Gogoro が台湾からの出品であると聞いて大きなショックを受けた。台湾のチームが設計・製造した製品であることが信じられなかったようである。王松富氏はとても誇りに思ったという。

王松富氏は、実際、台湾のデザイナーは優れた能力があり、多くの場合海外で賞を受賞していると述べている。また台湾は非常に洗練された製造技術も持っている。しかし、環境や経営者が開発のための良い機会を提供していないことは残念である。「ほとんどの台湾の経営者は、常にコスト指向であり、リスクを抱えたくなく、研究や技術革新を望んでいない、どんなデザインもより売れるように変更されがちである、それは残念なことだ。」

それはまさに陸学森氏が「バイク界の Tesla」という一つのテーマで、環境保護とスマートを目標に設定して、将来を見据えたビジョンの実現にあえて急ぎ、リスクを冒すことで、Gogoro スマートバイクを生

み出すことができた。台湾市場には 1,500 万台のバイクがあり、1 家族あたり平均 2.5 台で、その密度は世界最高で、大気汚染も深刻なものとなっている。バイクの利用は避けられないので、なぜこれを改善しようとならないのか、人々と環境はもっと親しいものになるべきで、Gogoro のスマートバイクがその答えを出してくれるに違いない。



王松富 (Wang Song Fu)

Gogoro (睿能创意) のチーフデザイナーで、製品デザインのコンセプトから、仕様決定、計モデリングから生産設計まで、彼が率いている。さらに、デザインディレクターとして、王松富氏は、同社の外部コミュニケーションプラットフォームを担当する 15 人のデザインチームを指導し、Web サイトから Gogoro®App まで、全体的なイメージデザイン、アニメーション、画像作成を、彼と彼のチームによってデザインされている。

王松富氏は、国内外で 15 年以上の製品設計経験を持ち、二輪車および乗用車の製品において 10 年以上の経験を有し優れたデザイン卓越性を持っている。台湾だけでなく、ヨーロッパや東南アジアなどの市場で活躍するほか、ドイツミュンヘンモーターショーなどの国際展にも繰り返し参加している。王松富氏はまた Gogoro の 8 番目の創設メンバーであり、CEO の陸学森から創立スタッフとして招かれ、最初の開発から上場まで参加し、Gogoro 魂に不可欠な人物である。